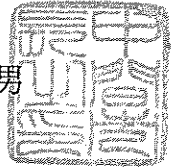


20中建土第 317号
平成20年10月17日

国土交通省道路局長様

中間市長 松 下 俊 男



今後の道路行政についての意見・提案の提出について
(回答)

標記の件につきまして、平成20年9月19日国道企第37号の
依頼の件に付しまして別紙の通り回答いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案

福岡県中間市

道路は、地域社会全体が利用する非常に公共性の高い社会インフラであり、これからの道路行政は広く意見や価値観を取り込んで計画立案を行うことが必要であります。現状は、行政が事業計画を策定し、すべて計画図書が作成され、地域にこのような道路を作ります、ご協力をお願いします。という手法がとられていると思われます。このことから、施策立案時から情報を公開し、入り口から広く地域社会に問いかけを行い、意見・要望を反映させた事業計画を作成し、さらにこの計画を地域と一体となって協議できるような組織を結成し、地域が計画時から満足がえられる事を確認して事業実施を行うことで、開かれた道路行政になると思われます。以上、改善・要望と致します。

②-1 地域の現状と抱える課題

○ 現状

中間市は、主要産業が炭鉱のまちから、住宅都市へと転換して 40 年が経過しました。炭鉱景気の崩壊後、一旦は活力を喪失しかけたが、まちの賑わいを取り戻すために展開されてきた住宅都市形成に向けた施策で、今日の市勢となりました。幹線道路の整備で周辺地域との往来も円滑化、スピード化され、文化や人々の交流も深まっています。

市民の念願であった遠賀橋の架け替えも完了し主要幹線のボトルネックは解消され、中間大橋とともに交通の流れは、格段に改善されている現状です。

このことから市内の交通体系は概ね良好に推移しているところではありますが、都市計画道路網の整備が財源不足から遅れている現状があります。

○ 課題

1. 都市計画道路については、平成 15 年度に都市計画道路のネットワークの見直しを行い、現 17 路線については必要であり、その中でも犬王古月線(市役所前交差点～蓮花寺交差点)については、交通量関係により 4 車線化が必要との結論をえたことから、県と調整し、整備について早急な対応が必要である。また現在の整備状況は平成 20 年度までに遠賀橋(新橋)から県道中間宮田線(JR 筑豊本線・垣生アンダー)塘ノ内砂山線の 1 部が完成する予定であるが全線開通にむけて財源の確保が急務な状態である。

2. 筑豊電鉄東中間～通谷間の高架事業
通谷電停付近の大型商業施設の開業で市内外からの来客及び通谷団地の発展に伴い市道御館通谷線と交差する通谷 1 号踏み切りの渋滞解消のため東中間～通谷間の高架事業が急務である。

3. 中間市は、北部に遠賀町と隣接し国道 3 号線が通過し、南部は、直方市に接し九州縦貫道が通っております。本市は、その中間に位置しておりますが、今回九州縦貫道筑豊インターチェンジが新設され、本市と国道、筑豊インターチェンジを結ぶアクセス道が遠賀川管理堤防上の県道(2 車線)だけであり、非常に貧弱であります。このことから、道路行政全般について改善と要望で申しましたように事業計画段階で周辺市町村の要望等を取り込んでいただき、幹線と幹線を結ぶ道路整備を致したい。

②－2 地域の目指すべき将来像

福岡県中間市

本市において目指すべき将来像とは、高齢者、若者、将来を担う子どもたちが、安全に、安心して暮らせる生活環境の中で元気が出るまちづくりをしていくため「元気」をキーワードとし、将来の都市像を「市民の元気な風がふくまちなかま」と定め、市民との協働と交流を推進し、住む人の融和と未来の夢を拓く街づくりをめざしていくものである。

この都市将来像を具現化していくため、次の基本目標を掲げる。

1. 快適な暮らしを支える社会基盤の整備 ～未来へとつなぐ都市づくり
2. 豊かな生活環境の創造 ～みんなで築く環境都市づくり～
3. 新世紀に適応した産業の振興 ～活力と賑わいのある都市づくり～

以上、中間市が目指す道路関連の将来像です。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

福岡県中間市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・総合的な交通体系整備	都市計画道路塘ノ内砂山線道路改良工事	全線開通によって現在工事中の市道とも結ばれ工業団地造成の促進が期待できる。	
・交通安全対策	筑豊電鉄東中間～通谷間の高架事業	現在事業化に向けて検討中であるが、事業が完了すると大型商業施設の集客力向上と車両及び歩行者への安全確保が格段に向上する。	
・産業の振興対策	二タ股東中牟田線道路改良工事	平成23年竣工を目途に現在工事中で本路線が完了することで虫生津、五楽両工業団地が結ばれこの沿線に計画の中の新工業団地事業化が促進される。	